

環境への想いをカタチに

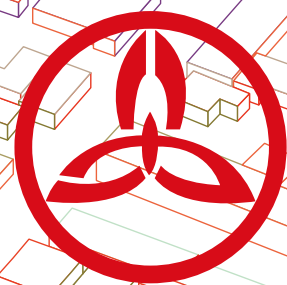
総合建設業

早野組

[会社案内]

GENERAL CONSTRUCTION
COMPANY

HAYANO CORPORATION
CORPORATE PROFILE



HAYANO

株式
会社 **早野組**

〒400-0807 山梨県甲府市東光寺1-410

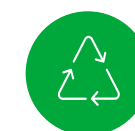
Tel.055-235-1111

<http://www.hayano.co.jp>



HAYANO

いっしょに未来の 話をしよう。



未来へ向けたとりくみ
はじまっています。

→ P. 04



暮らしやすさを
カタチに。

→ P. 06



現場が第一
そのための管理。

→ P. 08



チーム全体で
つくりあげてゆく。

→ P. 10



社内6部門の連携が
早野組を支えています。

→ P. 12



安全を第一に
管理された一日の流れ。

→ P. 15



早野組のプロジェクトが
環境を変えてゆく。

→ P. 18

早野組の年間行事 → P. 22

会社概要 → P. 25

基本理念 → P. 24

沿革 → P. 26

社員心得 10ヵ条 → P. 24

早野グループ → P. 27

未来へ向けたとりくみ はじまっています。



私たちは、快適で豊かな環境づくりのために日々格闘しています。

雄大な山々に囲まれ豊潤な緑と都市部が共存する山梨県に本社を置く早野組は、未来の豊かな社会と環境をつくるべく地域に貢献していく総合建設会社です。最適な土地開発の企画提案、リフォーム、リノベーション事業も展開し、地域社会を発展させ、より豊かにする環境づくりを行っています。確かな技術と柔軟な発想でプロジェクトを実行し、ものづくりによって街を育てていく。その担い手の一人として実力と技術を磨き社会に貢献していきます。

私たちの住む街、歩く道。何気なく通り過ぎている風景や社会の営み。生活に寄り添うそれら全てに、建設事業が関わっています。普段、目に見えない部分にも、生活の役に立ち、人命を守る工夫がなされています。災害時を想定したインフラの整備など、地域を守るもっとも身近な存在として人々の力になること。「暮らしやすさ」と自然との調和を図り、安全なライフスタイルの基盤を支える使命が早野組にはあります。人々の夢を実現するため、信頼される総合建設会社を目指して、あなたとあなたの大切な人が住む街を、輝ける未来を共につくっていきましょう。



暮らしやすさを カタチに。

代表取締役社長

早野 正泰

私ども早野組は、1887年（明治20年）の創業以来、山梨県を基盤として関東、中部、東海エリアで総合建設業を展開しております。戦後、建設業界は国土の保全や生活環境の整備など社会資本の整備を進めるための活発な公共事業の推進に携わってきました。また、日本経済の成長による民間企業の積極的な設備投資等もあり急速に発展してまいりました。

現在、社会資本の整備は進み、これからの建設会社の使命は発注者様からの工事を安全で高品質に完成することは当然といたしまして、環境にも配慮しながら、未来へ受け継がれる豊かな生活環境を構築するために、老朽化する資産をいかに後世に安全なものとして残していくかだと考えます。

受け継いできた日本の伝統文化や価値を考えながら、古民家や街にある空きビルの改築利用などリノベーション事業を通して地域復興、発展に貢献する再生建築の必要性を強く感じております。また、私たちの力を必要としている地域社会には、世界へ向けて新しいものを生み出す無限の可能性があります。信頼関係を第一に日常をデザインし、新しい

ライフスタイルを開拓していく原動力となって地域社会を支え、社会貢献をすることに誇りを持って仕事に臨み、取り組むことを大切にしております。

早野グループは、総合建設業以外に多岐にわたって事業を展開しております。グループ会社内では、研修・懇親会・スポーツ大会・女性委員会など多くの催しを行い、社員同士の交流を促す職場環境の形成に力を入れております。プライベートでの交流を含めた、アットホームな人間関係をつくるには、明るくコミュニケーションが取れる能力が大切です。早野グループでの社員交流から刺激を受け、見聞を広めて感性を養う場として早野グループで働くことを心から楽しみ、責任、役割を果たしながら仲間たちと手を取り合い切磋琢磨しております。

早野組はたくさんのお客様に支えられてきた歴史があります。建設業はたくさんの方々にパワーをいただきます。私たちはそのいただいたパワー以上の還元を社会にしていかなければなりません。責任ある立場を自覚し、技術を磨き、実力を発揮していける環境を創っていくことに、総力を注いでまいります。



現場が第一 そのための管理。

建設業は、ものづくりにおいてもっとも大きなものを扱うダイナミックな業種で、創造性が高く社会的責任も大きな仕事です。早野組が手掛ける仕事は大規模な公共工事から、民間の事業まで多岐にわたります。人々の生活を豊かにし、役に立つ仕組みをつくること。現場で働く作業員は、知恵を出し合いひとつの目標に向かってものづくりを行っています。建設業には社会を根底から支え、生活基盤と人命を守るという大きな使命があります。現場を自分が育てるという共通認識で、一人一人が仕事に取り組んでいます。また、現場の周辺住民の皆様に対し、情報を開示し、安心してもらうことはもちろん、自然環境を損なうことのないよう細やかな工夫や、地域一帯の清掃活

動などの取り組みも行っています。建設現場は、日々変化し同じ状況が訪れることはありません。柔軟な発想と臨機応変な対応力が必要となります。スピードよりも正確さ、作業員全員が事故のないよう安全に作業を完了することが最も大切です。大胆さの中にも繊細さが求められます。多様な業者、職人が出入りする建設現場での安全管理の徹底も、総合建設業を営む早野組の務めです。

建設現場には多くの責任と大きな使命があります。地域の皆さんが待ち望んでいた施設や、お客様の期待に応える建物を完成させ、引き渡しの瞬間を迎えたときに、大きなやりがい、喜びを感じ、何物にも代えられない達成感が待っています。



チーム全体で つくりあげてゆく。

早野組が手掛ける事業は公共工事から個人宅の新築工事まで多岐にわたっています。工場、医療施設、老人福祉施設、学校施設など企業、医療法人、学校法人と顧客も様々です。耐震工事や太陽光発電設置など、災害や環境に関連した事業も数多く展開し、土地に合わせた企画、事業の提案から、設計、施工、竣工後の運用やアフターサポートに至るまでをトータルに提供しています。幅広いニーズに対応し、顧客の夢を叶えることができるのは、歴史の積み重ねに裏づけされた技術力に加え、会社内の緻密なチームワークの賜物です。

早野組は地域密着型の企業として、人によって支えられてきました。人に寄り添う建設を遂行するため、顧客の声に耳を傾け、

尊重し、丁寧に思いを汲み取ります。建設の可能性を最大限に発揮するべくチーム一丸となって取り組み、綿密な打ち合わせを何度も重ね、きめ細かく漏れのないよう課題の解決や可能性を追求していきます。各部署のスペシャリストたちが知識と熱意を持ち寄ってひとつの事案を成功に導いていく。徹底した社内の柔軟なコミュニケーションと連携で期待に応えることが、顧客の満足と笑顔につながっていきます。意見交換、進捗、問題点、報告事項の確認。妥協のない作業が品質向上につながります。小さな積み重ねが巨大な建設物を現実世界に生み出すための原動力となります。広げられた図面、注がれる視線。すべてがここから始まります。

SIX DEPARTMENTS



社内6部門の連携が 早野組を支えています。



早野組は、施工部門として「建築・土木・舗装」の3部門、現場での円滑な進行をアシストする部門として「設計・営業・管理」の3部門があり、計6部門で互いにサポートし合うことで成り立っています。会社にとって欠かすことのできない役割がそれぞれにあり、各分野でスペシャリストとなる人材育成を行っています。具体的には、どんな人たちが、どのように働いているのでしょうか？ 各部門の取り組みや早野組を支える6つの部門、最前線で働く個性豊かな先輩社員を紹介していきましょう。

管理



会社を支える屋台骨であり潤滑油として総務部に所属する羽田さんは、同じミスをしたということ、冷静かつ的確な仕事をする心を心がけている。休日は旅行や季節のスポーツを楽しむ。

2012年入社 管理本部 総務部

NO. **1**

羽田 真実

私の仕事は電話対応や郵便物の仕分け、会議の出欠確認から準備まで社内のマネジメントを担当しています。管理本部は、他部門で働く人たちをサポートする役割を持ち、目に見えないコストを削減することにより利益を生む重要な部門です。どうすれば会社にとって効率が良いか、仕事が円滑に進むか、慎重に考えて日々業務にあたっています。会社の窓口でもあり、早野組の顔でもあるという自覚を持って、社内の人や会社を訪れるお客様に積極的に挨拶し、笑顔を意識してお声をかけるようにしています。管理本部は会社の全ての部門とかかわりがあるため幅広い年代の人、たくさんの人との接点が生まれるので、最初は苦手だったコミュニケーションが、仕事を通じて楽しく感じるようになりました。

営業



日原さんが所属する営業第二部は民間営業を担当。法人の事業用建築物を扱うことが多い。社内独自の点検基準を設け、施工後のアフターサービスを含め早野組ファンをつくるようなきめ細かな営業を展開する。

1992年入社 営業本部 営業第二部

NO. **2**

日原 孝樹

127年という長い会社の歴史を支えてきてくれたのは地域の方々です。地域に愛される会社としての姿勢を受け継ぎ、早野組に頼んでよかったと思ってもらえるような、ファンを作る仕事を全社一丸となつてする必要があります。ただ仕事をいただくだけでなく、企業や業界の動向を見ながら受注活動を進めていく視野と判断力も重要です。わたしたち営業は設計への橋渡しの役割も担っているので、お客様の信頼を得るために誠実さをもって仕事に臨んでいます。数ヶ月で受注に至る場合もありますが、多くの場合は受注までに数年かかります。契約をさせていただき、施工を終えて建物を引き渡したとき、お客様の笑顔を拝見した際の達成感は何物にも代えがたい喜びです。会社にとって、人は財産。人を大切にする営業を心がけています。

設計



東京の大学で設計を学び、卒業後、自分の学んだことが地元のために活かさないかと山梨に戻った。設計事務所に所属したのち、当社に入社。幅広い分野の建物の図面を手掛けられるのは総合建設会社ならではの。

2013年入社 営業本部 設計部

NO. **3**

黒澤 徳子

元々、幼少期から絵を描くことが好きだったので図面を描くのは楽しいですね。早野組の設計は、工場から店舗までバリエーション豊富な仕事内容ですし、成果が目に見えるというところにやりがいを感じます。設計も営業の一環だと捉えて仕事を進めていくので、デスクで図面を描くだけでなく、お客様や社内の皆さんとのコミュニケーションを大切にしています。社内のチームワークは良い提案をすることにもつながりますし、お客様との会話のなかで、図面をお見せしながら丁寧に説明し、意図を上手に汲み取ることで予算以上の付加価値を生み出せるように努めています。将来的にはもっと多くの物件を手掛け、どんな建築物でも図面が描けるような設計士になるのが目標です。



地域住民が早野組の手掛ける建物なら大丈夫と安心し、完成を楽しみにしてもらえるような仕事をしたいと話す。資格を取って、現場を任せられるような人材になることが目標。当社では、社員の資格取得もサポートしている。

2014年入社 建築本部 工事部

NO. 4

近藤 峻

大学で建築を専攻し、建築の構造や製図などを勉強しました。初めての現場では最初、右も左もわかりませんでしたが、先輩や上司に恵まれているおかげで、手ほどきを受けながら日々慣れていきました。わからないこと、不安なことは上司や先輩を頼って、聞いてみるのが一番ですね。日々の業務では建設中の建物を巡回し作業が予定通りに進んでいるか、仕上りの寸法を計測するなど細かくチェックしています。安全管理の徹底や現場をクリーンに保つことも大切な仕事です。建築現場の面白いところは、建物が出来上がっていく過程で現場の表情が変わっていくこと。日々変化していく現場なので同じ事だけでなく、違う視点からも物事を判断することが大切だと思います。



現場監督として現場をまとめるベテランだけに、責任ある仕事が多い。プレッシャーをモチベーションに変えて仕事に打ち込んでいる。オフはゴルフに出かけていることが多いそう。休暇のリフレッシュもいい仕事をするコツ。

2005年入社 土木本部 工事部

NO. 5

坂本 尚宣

土木の現場は公共性の高い仕事が多いですね。広域に渡る環状道路や幹線道路など、みんなが使用するもの、後世に残る大きなものをつくることにやりがいを感じます。プレッシャーに負けず、責任感を力に変えて前に進んでいく姿勢が重要です。建設業全般、幅広く当てはまることですが、私たちの仕事は作り置きができません。現地一品生産なので、真心をもって仕事に取り組んでいます。さらに、現場でのチームワークは仕事を計画通り進めていく上で重要なので、パートナー企業を含め、若手からベテランまで幅広い年代層の人とコミュニケーションをとる必要があります。わからないことは質問し、先輩の言うことを守る。基本的な積み重ねが良い現場づくりにつながります。



学生時代、俳優として芸能事務所に所属していた経歴を持つ。堅実かつ将来性のある仕事をしたいと建設業を志し、早野組に籍を置いた。作業時間の配分などセルフマネジメント能力を伸ばせることが、現場仕事の魅力と話す。

2012年入社 舗装本部 工事部

NO. 6

水岸 大地

任される仕事が増え、その分背負う責任も大きくなってきたと感じます。以前は現場単位でしか仕事を見ていませんでしたが、自分が現場で先頭に立つ大変さを知ること、会社全体としての仕事という部分が少しずつ見えてきた実感がありますね。舗装部の仕事は道を造ることです。それはライフラインを作るということですから地域、周辺住民の皆様方と一番関わりが深いのは、舗装の仕事だと思います。自分の仕事一つ一つが道となっていくことを考えると、地域の人たちに喜んでもらい、この道は俺が造ったと胸を張って言えるような仕事をしなければと、自覚を持って作業に取り組むようになりました。山梨は車社会なので、道造りに携わると普段何気なく使っている道路の見方が変わり、意識が高まります。

TIME SCHEDULE

安全を第一に 管理された一日の流れ。



DAYTIME



NIGHTTIME

全ての作業員が一丸となって建造物をつくりあげる最前線の工事現場には、たくさんのドラマが生まれます。早野組の社員だけでなく、多くの業者さんたちも出入りして、ひとつの建造物をつくりあげています。野外活動がほとんどのため、日本の四季折々の気候の影響も受けやすい環境であり、作業する時間帯が変われば時間帯に沿った方法で施工を進めます。夜間工事など、騒音や振動対策として道具を電池式や静音のものにするなど、周囲に配慮された工夫がなされています。作業環境を清潔に保ち、同時進行している全体の状況を迅速に把握、共有するシステムの構成。安全巡視を徹底し、掲示、啓発活動することで注意喚起し、全ての作業員の安全を第一に管理します。日々表情を変える建設現場では一日の流れの中で、安全に、効率よく品質の高い建造物をつくるために、最善が尽くされています。

 DAYTIME

8		8:00	朝礼／KY活動	
9		9:00		
10		9:45 10:00 10:15	安全巡視 休憩	
11		11:00		
12		12:00	昼食	
13		13:00 13:15	打ち合わせ	
14		14:00		
15		14:45 15:00 15:15	安全巡視 休憩	
16		16:00		
17		17:00	片付け／清掃	

 NIGHTTIME

20		20:00	作業前 ミーティング／KY活動	
21		21:00		
22		22:00		
23		22:45 23:00 23:15	安全巡視 休憩	
0		0:00		
1		1:00	安全巡視	
2		1:30 2:00	休憩	
3		3:00	安全巡視	
4		3:45 4:00	休憩	
5		4:45 5:00	打ち合わせ 片付け／清掃	

PROJECTS

早野組のプロジェクトが 環境を変えてゆく。



山梨県建築文化奨励賞受賞
(一般建築物等の部門)



ほうとう不動 東恋路店

山梨県南都留郡富士河口湖町

丸みを帯びた滑らかな曲線によってのみ造られた独特の構造、富士に浮かぶ白い雲のような外フォルムが、景観と相まって壮大な印象を持つ山梨県河口湖に立地する「ほうとう不動 東恋路店」は、世界的な建築賞も受賞している山梨県生まれの建築デザイナー保坂猛氏が設計し、日本建築家協会新人賞を受賞。山梨県建築文化奨励賞も受賞しています。河口湖のランドマークの一つとして地域の皆様、観光に訪れるお客様に親しまれています。

1



ネットヨタ甲斐(株) 竜王店

山梨県甲斐市玉川

早野グループであるネットヨタ甲斐竜王店は山梨のドライバーをサポートし、クルマのある快適な暮らしを提案するカーディーラー。クルマ社会山梨を支えるパートナー、プラットホームとして街の中で機能しています。クルマの出入りがしやすい視認性が良好なエントランスとパーキングエリア、石畳と噴水が異国の広場を彷彿とさせます。人とクルマが交わる場所として居心地がよく、親しみやすい雰囲気が演出されています。

2



アイメッセ山梨

山梨県甲府市大津町

山梨県における産業の振興と文化の向上を図るために建設された多目的ホール。情報、技術、文化の交流を促進する場として活用されています。大小様々な展示会場、多人数でのミーティング、セミナーが行える会議室などがあり、地場産業やテクノロジー、プロダクト、クラフトワークなどの展示会や大規模な音楽イベントなど多様な催しが行われています。時には、ドラマなどのロケで利用されることも。

3



教育施設 県立甲府工業高等学校

山梨県甲府市塩部

100年近い歴史を誇る甲府工業高校では、機械科・電気科・電子科・建築科・土木科があり様々な分野、業種で活躍するエンジニア、スペシャリストを育成しています。平成9年に新校舎が竣工し、新しい時代を切り拓く生徒の個性や能力を伸ばす快適な教育環境が整備されました。「ものづくり」「進学」「部活動」の各分野でトップレベルの工業高校を目指す方針を掲げ、日々生徒たちが学びを深めています。

4



商業施設 オギノリバーシティ

山梨県中央市山之神

本当の豊かさを目指し、消費者の視点から見た商品開発とセレクトをしている、山梨のひとつにとってはなじみ深いショッピングセンター、オギノは小さい店舗から大型店舗まで様々な形態で県内に展開しています。ひととき大きな店舗面積を誇る中央市のリバーシティ（旧リバーサイドモール）は1987年開業当時、郊外型のショッピングセンターの先駆的な存在として登場し、オギノグループのシンボリックな店舗として現在に至ります。

5



芸術・文化施設 甲斐奈神社社殿

山梨県甲府市中央

甲斐奈山（現・愛宕山）の頂に祀られ、以来、甲斐国鎮守として崇められた甲斐奈神社は、甲斐の武将として名高い、武田信玄の父にあたる武田信虎の築城の際に現在の地に遷座されました。昭和20年に戦災によって社殿は焼失してしまいましたが、戦後20数年で元通りに復旧されました。歴史的な価値を持つ、日本の芸術・文化施設再建も建設業の力が役立ち、現代に語り継がれて人々に愛されています。

6



公共施設 山梨消防署

山梨県山梨市小原西

有事の際には、人命を守る山梨県峡東地域の防災拠点として最新の防災設備を導入しています。直線を用いた近代的な外観は公共施設としての役割を果たすだけでなく、デザイン性も兼ね備えていることから、街の景観に映え、地域で生活する人々の目に留まり安心して生活を営んでもらえる象徴となっています。平成17年に山梨県建築文化奨励賞を受賞しています。

7



イベントホール オステルリー・ド・コートダジュール

山梨県甲府市増坪町

幸せな二人が愛を誓い、祝福を受ける結婚式、披露宴のためのウェディングホール。名前の由来はフランス南部のリゾート「コートダジュール」からきています。オステルリーはフランス語で郊外の邸宅を意味し、名の通り、佇まいはリゾートのゴージャスな邸宅。清潔感のある白を基調とし広々としたガーデンスペース、バンケットホールを貸し切りスタイルで利用でき、ゲストもリラックスできるラグジュアリー空間を実現しています。

8



富山橋床版工事

山梨県南巨摩郡身延町下山

橋の長さは447メートル。国道300号線に架かる橋としては最長です。山梨県南巨摩郡身延町下山地区の住民が、ローカル単線であるJR身延線波高島駅に行く上で重要な役割を担う橋として、日本三大急流である富士川を渡るために利用されてきました。近年、この波高島駅付近に中部横断道のインターチェンジが設けられることとなり、新たに地区の道路改良工事と併せて整備され、富山橋を含む波高島バイパスとして2008年に開通しました。

13



大月バイパス舗装工事

山梨県大月市駒橋～御太刀

大月市街地の交通渋滞解消と交通安全の確保を目的として計画された全長3200メートルに及ぶバイパス整備工事です。大月市街地の南、菊花山の麓に沿って新たに道路を建設しました。この工事によって、国道20号線との交通分散が図られ、交通量の偏りをなくし、20号線の交通事故減少が期待されています。1700メートルの第1工区は全線開通し運用されており、残り1500メートルの第2工区は平成30年に完成、全線開通予定となっています。

9



御池の沢第2床固工事

山梨県南巨摩郡早川町雨畑

山梨県南巨摩郡早川町にある早川流域は、日本列島を東北帯と西南帯に二分するフォッサマグナの西端、糸魚川静岡構造線が縦断しているため、岩盤は極めて脆弱で土砂災害の常襲地域となっています。地域住民の人命や、交通網を土砂災害から守るために土砂災害発生地域には、えん堤や砂防が建設されています。御池の沢にも土石流の防止対策としてえん堤が造られましたが、その長さは富士川砂防事務所所轄内でも有数の200メートルに及びます。

14



国道52号清水IC 穴原舗装工事

静岡県静岡市清水区穴原

静岡市清水区北部に位置し、新東名高速道路、新清水ICが設置されています。新東名高速道路は東名高速道路と並行し、神奈川県海老名市から静岡県を経由、愛知県豊田市へ至る高速道路です。新清水ICは山梨県南西部、南部町から新東名高速道路に乗るための最寄りインターとなっています。清水港から山梨方面だけでなく新東名高速道路を介して各方面への物流の拠点として周辺道路と共に整備されました。

10



新倉トンネル

山梨県南都留郡富士河口湖町

国道137号線の富士吉田市から富士河口湖町間の渋滞緩和対策として周辺道路と併せ整備されたトンネルです。整備区間3000メートルの内、新倉河口湖トンネルが2476メートルあります。新倉トンネル開通に際しては地元住民の要望も強く、平成17年度に事業採択され、平成24年度には完成。公共事業としてはスピード感のある工事となり、国道137号線吉田河口湖バイパスとして周辺住民や道路利用者の利便性が著しく向上しました。

15



富士川ショッピングモール駐車場

山梨県南巨摩郡富士川町青柳町

新しい流通業の形を目指し、ライフスタイルを提案するショッピングモールとして関東近県に展開されている。山梨では富士河口湖町にも同系列のモールがあります。ファッション、ショッピング、レストランをはじめ、ドラッグストアやクリーニングなど生活に欠かせない各種サービスが集まったパーキング共用の複合商業施設です。山梨県峡南地域において10000㎡以上という最大規模の売り場面積を誇り、地域の生活を豊かに彩っています。

11



浅原橋下部工工事

山梨県中央市臼井阿原

山梨県南アルプス市と中央市を結ぶ、釜無川に架かる橋で、全長は401メートルあります。南アルプス市南部と、JR身延線特急の停車駅東花輪駅を結ぶ役割を担う橋として利用されています。最初にこの場所に橋が架けられて、現在5代目になりますが架橋から50年が経過しており、交通量も多いことから老朽化が進み、これまで何度か修繕が行われましたが、2011年より現在の橋の上流に新しい6代目に架け替える工事が開始されました。

16



駿台甲府高等学校グラウンド整備

山梨県甲府市塩部

愛情教育を全学の建学理念に掲げ、2018年に創立100周年を迎える駿台。昭和54年、センター試験制度が施行された年に駿河台学園が甲府に兄弟法人として学園を発足させ、翌年4月に高等部を開校。続いて中学、小学校と順次開校し、山梨県初の小中高一貫教育機関として発展してきました。駿台甲府高等部創立35周年を記念して駿台甲府高等部塩部キャンパスではグラウンド整備事業が2014年6月に着工。同年9月に人工芝の新グラウンドが完成しました。

12



岩岳沢崩壊地対策工事

長野県諏訪郡富士見町落合

山の同じ場所が崩れ続けている地帯を崩壊地と呼びます。放置しておくとも崩壊が拡大してしまう上に下流に大量の土砂を押し流してしまうことになります。土砂によって人命が失われる恐れや山間部の道路を分断し交通が麻痺した場合、孤立集落となってしまう地域もあります。そのため土砂流出対策として崩壊地には法面工事が施されます。国土交通省関東地方整備局平成25年度優良工事として局長表彰を受けた公共事業です。

17



サドヤ・シャトー・ド・プロヴァンスのカラーメロウコート工事

山梨県甲府市北口

甲府に2000坪の敷地を持ち100年以上の歴史と伝統を持つワイナリーサドヤは甲府駅北口から徒歩5分に位置しています。敷地内は南仏プロヴァンスのようにアンティークな雰囲気と豊かな緑が調和し、美しい景観が広がっています。敷地内は特殊な樹脂を配合し、優れた耐久摩耗性を持つカラーメロウコートで舗装されており、ブライダルも行うワイナリーの美しさを長年にわたって維持することを実現しています。

EVENT SCHEDULE

早野組の年間行事



● 新年あいさつ会



● 早野グループ研修会
● 早野グループ合同懇親会



● 納涼会



● 社員旅行 (2年に一度)



● 早野組・早野組欽明会年末安全大会



1

January



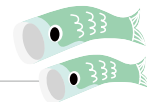
3

March



5

May



7

July



9

September



11

November



2

February



4

April



6

Jun

8

August



10

October



12

December



● 早野組・早野組欽明会年度末安全大会



● 入社式



● 創立記念式典
● 早野組・早野組欽明会安全大会
● 愛宕山清掃



● 内定通知式

● 早野グループ親睦ソフトボール大会



● 忘年会

● 早野組・協力会社合同
年末情報交換会



基本理念

当社の経営理念は『地域に根ざした総合建設業として、社会資本の整備と公共の福祉に貢献することにより、社是「和」の下にお客様・社員・パートナー会社などすべての関係者の幸せを達成すること』である。

これを実現するため、真心と確かな技術で常にお客様に満足していただける製品を提供する。

そのために、全社員が会社の使命をよく認識し、誇りと責任を自覚して一致団結し、愛社精神を持ち、仲間と共に働けることに感謝し、業務を通じて人格の形成に努め、生きがいや自己実現を図ることとする。

「会社は人なり」を実践して基本理念を達成するため、以下「社員心得」を定める。

社員心得 10ヵ条

- 1

和を大切に

社員は家族同様である。常に仲間意識を持って互いを思いやり、対話を重ね、切磋琢磨し、助け合おう。
- 2

積極的な自己啓発

前向きに思考し、常に向上心と素直で謙虚な気持ちを持ち続けよう。自己啓発を継続することは、必ず会社の役に立つことを信じよう。
- 3

あいさつの励行

コミュニケーションの基本は挨拶である。あらゆる人と明るくはつきりとした言葉で爽やかに交わそう。
- 4

6Sの徹底

6Sは安全・品質・工程・原価・環境そして営業の要である。6Sを基本として業務の最適化を図ろう。
- 5

安全最優先

安全と法令遵守は「会社存続の礎」である。忙しい時でも慌てず、細心の注意を払いすべてに優先しよう。
- 6

PDCAの実行

常に仕事に目的意識を持ち、自発的に行動すると共に創意工夫・改善を考え、報・連・相を怠らずPDCAを回そう。
- 7

コストダウンの追求

経営者意識を持って常に損益を考えよう。攻めのコストダウンにより、より安くより良い商品をより早く提供しよう。
- 8

プレゼンテーションの工夫

お客様からの信用・信頼が会社経営の基本である。幅広い知識と公平な観点からお客様のためになるものを提案しよう。
- 9

アフターサービスの向上

買って頂く前よりも買って頂いた後のフォローが重要である。お客様からのクレームは真摯に受け止め、迅速・丁寧な対応をしてその後に生かそう。
- 10

健康の維持

健全なる精神は健全なる身体に宿る。健康は自身のためばかりでなく、家族・仲間のためでもあることを認識しよう。

会社概要

会社名	株式会社 早野組
本社所在地	山梨県甲府市東光寺一丁目4番10号
支店・営業所	東京支店・中部支店・新宿営業所・静岡営業所・岐阜営業所・南アルプス営業所・早野リバブル・八田アスファルトプラント・身延アスファルトプラント
代表者	代表取締役会長 早野 潔 代表取締役社長 早野 正泰
創業	1887年（明治20年）4月8日
資本金	1億8,000万円
建設業許可番号	国土交通大臣許可（特-24）第2605号
一級建築士事務所	山梨県知事（梨）第1-25284号
早野組宅地建物取引業許可番号	山梨県知事（6）第1548号
従業員	263人
早野グループ従業員数	1,439人（パート・アルバイト含む）

有資格者数	人数
技術士	1人
一級建築士	29人
一級建築施工管理技士	67人
一級土木施工管理技士	100人
一級舗装施工管理技術者	25人
宅地建物取引主任者	10人

業務案内

1.

土木及び建築の設計、監理並びに施工請負
2.

建設資材の販売
3.

産業廃棄物の処理並びにアスファルト合成骨材
その他土木建築用資材等の廃棄物の再生製品の販売
4.

不動産の売買及び仲介並びに賃貸
5.

損害保険代理業
6.

生命保険の募集に関する業務
7.

特定労働者派遣事業（特19-300149）
8.

太陽光等を利用した発電業務及び電力の販売並びに管理業務請負
9.

環境事業に関する調査、環境関連機器及び関連商品の企画、開発、製造、
販売及び設置工事及び保守管理
10.

農作物の生産、加工、販売
11.

前各号に附帯関連する一切の事業

明治	20年（1887）	初代社長早野金蔵により早野組創業 笛吹川堤防築堤工事請負
	36年（1903）	鉄道省中央本線笹子隧道新設工事請負
	38年（1905）	鉄道省中央本線新設工事請負
	43年（1910）	国道8号線（現在国道137号線）新設工事請負
	45年（1912）	甲府市千秋橋落成
大正	7年（1918）	玉幡競馬場建設工事請負
	8年（1933）	山梨県土木建築請負業組合（現山梨県建設業協会）が発足し初代会長に早野金蔵就任 代表者早野金蔵死亡により休業
昭和	29年（1954）	2代目社長早野欽介により早野組の事業再開 6月19日資本金100万円を以て（株）早野組を設立
	34年（1959）	建設大臣登録（ト）第3274号 中部地区の拠点として飯田営業所を開設
	35年（1960）	資本金を400万円に増資
	37年（1962）	飯田営業所を中部支店に昇格
	40年（1965）	3代目社長に大橋一良就任 資本金を1,250万円に増資 八田アスファルトプラント開設
	42年（1967）	4代目社長に青柳佐八郎就任
	44年（1969）	5代目社長に平山銑一就任 資本金を2,500万円に増資
	45年（1970）	静岡営業所を開設
	47年（1972）	6代目社長に早野潔就任 資本金を4,000万円に増資 身延アスファルトプラント開設
	50年（1975）	岐阜営業所を開設 資本金を6,000万円に増資
	51年（1976）	資本金を1億2,000万円に増資 電算管理室を開設し、コンピュータを導入
	53年（1978）	関東地区の拠点として東京営業所を開設
	56年（1981）	東京営業所を東京支店に昇格
平成	元年（1989）	資本金を1億8,000万円に増資
	4年（1992）	新本社屋竣工
	7年（1995）	東京支店を八王子に移転、新宿営業所を開設
	8年（1996）	八田・身延アスファルトプラント改築、八田プラントでは破碎設備とリサイクルプラントを設置し、産業廃棄物中間処理業と再生合材の出荷を開始する
	10年（1998）	品質管理及び品質保証の国際規格「ISO9001」認証取得
	11年（1999）	新宿営業所を閉鎖
	13年（2001）	環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」認証取得
	14年（2002）	品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」を2000年版に移行
	15年（2003）	南アルプス営業所を開設
	16年（2004）	神田営業所を開設
	18年（2006）	新宿営業所を開設（神田営業所を閉鎖）
	20年（2008）	中部支店、静岡営業所、岐阜営業所、南アルプス営業所を移転
	21年（2009）	モータープールを移転（資材部を閉鎖）
	24年（2012）	早野リバブルを開設
	25年（2013）	7代目社長に早野正泰就任、会長に早野潔就任、現在に至る

□ 株式会社早野組

〒400-0807
山梨県甲府市東光寺1-4-10
TEL 055-235-1111

□ ネットヨタ甲斐株式会社

〒400-0862
山梨県甲府市朝気3-10-21
TEL 055-232-5511

□ 株式会社やさしい手甲府

〒400-0041
山梨県甲府市上石田1-7-14
TEL 055-236-6210

□ 甲府通運株式会社

〒409-3845
山梨県中央市山之神流通団地3329-9
TEL 055-273-0611

□ トヨタホーム山梨株式会社

〒409-3851
山梨県中巨摩郡昭和町河西1043
TEL 055-275-1234

□ 株式会社ロード

〒400-0853
山梨県甲府市下小河原町262
TEL 055-241-6161

□ 株式会社ハートフルスタッフ

〒400-0041
山梨県甲府市上石田1-8-20
TEL 055-236-5552

□ 合同会社早野ソーラーパートナーズ

〒400-0807
山梨県甲府市東光寺1-4-10
TEL 055-235-1111

□ 株式会社ハヤノ通商

〒400-0807
山梨県甲府市東光寺1-4-10
TEL 055-233-4291